

支え合うところあふれるまち くるめ



くるめ福祉

2023

1

No.185

発行 社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会



い



いろいろを
ちいきにも
こころにも



※関連記事は4ページ

[市社協ホームページ](#)

INDEX

- 第50回久留米市社会福祉大会 報告 ● 地域の活動紹介します
- 居場所の紹介 ● ボランティアフェスティバル 案内

のぞいてみよう!





新年のごあいさつ

久留米市社会福祉協議会
会長 中島 年隆



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より本会が取り組んでおります地域福祉活動の推進につきましては、ご理解とご支援に感謝申し上げます。

さて、近年の地域福祉を取り巻く状況は、長引くコロナ禍の影響により、孤独や孤立、引きこもりや虐待、貧困、さらに地域

における支え合いの希薄化など様々な課題が顕在化しています。また経済状況は、収入の減少などに加え、記録的な円安による物価高騰が家計を直撃する中、日常生活において困難な状況にある世帯の増加は深刻な社会問題となつております。

このような中、本会では、本人や世帯の複合化・複雑化した地域生活課題に対応する包括的な支援体制を構築するため、相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業の取組みを行政と連携して進めているところです。またコロナ禍以降、市内の農家、事業所、JA等との連携を深め、食材やお米、農産物などの寄付を広く求め、

ご寄付いただいた食品を市内のフードバンクやフードドライブ、子ども食堂などへの支援活動を展開している団体に提供する取り組みも進めてきております。今後もこのような支援活動の充実を図るとともに、生活にお困りの世帯からの相談にも寄り添った対応を心がけ、課題解決への支援を行ってまいります。

さらに、すべての人が住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせるよう「人と人」、「人と社会」がつながり、一人ひとりが役割や生きがいをもつて、互いに助け合いながら暮らせる「地域共生社会」の実現に向けた様々な取組みを行政や関係団体、そして住民の皆さまと連携しながら引き続き進めてまいります。

本年もなお一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

第50回久留米市社会福祉大会

●記念講演●

「子どもの貧困と地域共生社会」

講師

久留米大学 文学部 社会福祉学科
教授 上原 紀美子氏

第50回久留米市社会福祉大会の記念講演では、上原教授を講師に迎え「子どもの貧困と地域共生社会」と題して講演をいただきました。

近年、社会問題として取り上げられる子どもの貧困について、調査データに基づき、貧困率や教育格差の問題、貧困の世代間連鎖等について詳しくお話いただきました。

「経済的な事情、家族の問題等に直面する子どもたちの『今』をほんの少しだけでも変えること、それがその子どもの未来を変えることになるかもしれない。これからの社会のあり方を考えていくうえで、私たち大人の責任は非常



記念講演の様子

社会福祉の推進に寄与された134名・24団体を顕彰

第50回 久留米市社会福祉大会 開催

令和4年11月2日、文化センター共同ホールにおいて、約300人の参加のもと久留米市社会福祉大会を開催しました。式典では、永年にわたり日頃より地域福祉活動や共同募金運動に取り組み、地域福祉の向上に貢献された皆さまを顕彰いたしました。

第50回 久留米市社会福祉大会顕彰者一覧(敬称略)

久留米市社会福祉協議会顕彰

久留米市長顕彰

●永年福祉活動功績者

田中 良介 市社会福祉協議会理事
江口 幸子 西国分 井上 洋子 金丸
米谷 和友 日吉 高田カヨ子 荒木
吉村 篤 日吉 小玉 良富 青峰
青沼 典子 鳥飼 永松 正信 柴刈
笠 幸江 小森野 下坂 勝子 城島
松尾 初江 金丸

久留米市社会福祉協議会 会長顕彰

●永年福祉活動功績者

井上 隆信 西国分 古賀由美子 南
清永ヒミ子 荘島 坂本 和子 合川
三浦 秀夫 日吉 金森 増子 青峰
戸田 久夫 篠山 江口 博重 水縄
尊田 典子 京町 山下イセ子 田主丸
茅島すみえ 鳥飼 横溝 孝徳 田主丸
梅野 明美 金丸 本村 範美 犬塚
大本まさ子 南 馬場 義治 三瀬

●校区社会福祉協議会会長功績者

近藤嘉一郎 高良内 緒方 義之 荒木

●校区社会福祉協議会役員 及び実践活動者

松岡 裕子 末廣夕起子 西国分
北村 宗文 林 美枝 荘島
中村三智枝 三原 京子 日吉
重永 洋子 田中紀美代 篠山
野口 薫 石橋 町子 京町
梁井奈緒美 坂井 保 鳥飼
倉員 博子 長門石
笠 日出香 山中 直美 小森野
弓削サカエ 持永 澄子 金丸

板谷アグミ 中野 肖子 東国分
豊福 恵子 植村久美子 御井
真子 勝代 村上カツ子 南
石原 由美 坂本 卓美 合川
堤 つね子 今村三重子 山川
宮崎 君子 日隈美和子 上津
牟田 伸子 藤吉 精一 高良内
関 教幸 岡田 和美 宮ノ陣
池田 充志 日比生若枝 山本
牛島 英子 平山 友子 草野
黒田 貢 末安 道則 安武
松藤 玲子 山口 明子 荒木
西岡 祥子 森山 陸美 大善寺
鹿毛 秀子 大石 宏子 善導寺
塩月 基夫 入部 昭生 津福
堺 米子 永松 友子 竹野
横溝 秀人 森田 雄一 水縄
横溝 敏子 田主丸
津留崎大樹 北野
池田 信市 光益 啓子 弓削
小野 秀人 松尾 賢二 大城
辻 成子 佐藤 愛子 城島
江頭 新悟 江頭 善則 下田
久保基一郎 横山 邦繼 浮島
上野 幹久 犬塚
八山 伸子 今村 洋香 三瀬
猿渡 勉 関 津代子 西牟田

●福祉団体活動推進者

原田眞喜子 市母子寡婦福祉会

●社会福祉協助者

日本赤十字社
福岡県支部筑後地区 ボランティア活動
安全普及会
特定非営利活動法人
にこにこ会 ボランティア活動
朗読ボランティア
コスモス ボランティア活動

久留米市自閉症児・者
親の会 ボランティア活動
くるめすこやか推進会 ボランティア活動
筑後信用金庫
信和会 ボランティア活動
タウン症児・者親の会
「翼の会」 ボランティア活動
北野手話の会 ボランティア活動

●高額寄贈者

宗教法人 真如苑 事業資金
特定非営利活動法人
たくみの会 事業資金
久留米有馬
ライオンズクラブ 物品寄付
久留米東
ロータリークラブ 物品寄付

福岡県共同募金会 久留米市支会顕彰

久留米市長顕彰

●共同募金運動推進者

入部 昭生 津福

久留米市支会会長顕彰

●校区分会長功績者

米谷 和友 日吉

●共同募金運動推進者

弥永 光夫 樽美 岸恵 金丸
掛野 和宏 津福
江頭 渡 合川

●校区分会長功績者

坂本 卓美 合川
佐田ひろみ 鳥飼
甲斐サエ子 小森野
横山 邦繼 浮島
平尾 孝治 犬塚

●校区分会役員及び 実践活動者功績者

猪口 徹 西国分
森田智枝子 三小田一郎 荘島
牛島 公二 丸山 秀幸 日吉
山本 幸子 北村 信一 京町
半田 一郎 南薫
船越 輝雄 古賀 毅 金丸
牛嶋守一郎 東国分
堺 康太郎 御井
大西 恭子 南
八尋 丈和 大友 昭男 宮ノ陣
阿部 真一 高田 康伸 津福
原 一市 上野利恵子 城島
森光 眞弓 犬塚
塚本 祐子 今村 洋香 三瀬
中村 勢子 坂田 和総 西牟田

●優良校区分会

小森野校区分会
荒木校区分会

●高額寄贈者

有限会社渡辺栄治商店 京町
くるめランチサービス 京町
医療法人 内科・小児科
西村医院 長門石
ひろつおなかクリニック 金丸
医療法人弘優会
日高眼科クリニック 合川
社会福祉法人宮ノ陣福祉会
かおりこども園 宮ノ陣
半田工業株式会社 宮ノ陣
津福校区民生児童委員会 津福
有限会社秋吉板金工業 三瀬
久留米市佛教会 市支会

地域の活動紹介します ～地域活動レポート～

久留米市では、「支え合うところあふれるまち くるめ」の実現を目指し、様々な活動が展開されています。今回は、校区の取組みに焦点をあてて、特色ある活動についてご紹介します。

子どもたちと一緒に花植え ～彩り～

実施主体 青峰校区社会福祉協議会・青峰小学校

青峰校区社会福祉協議会(以下、「校区社協」)では、小学校との連携による交流事業として、高齢者へのお弁当づくり&ミニ交流会を実施していました。しかし、コロナの影響で開催することが難しくなりました。

そこで校区社協と小学校では、「何か思い出に残ることをしたい」「ふれあえる機会を作りたい」と、昨年3月に花植えを行いました。6年生と校区社協役員・ボランティア、先生たちが参加し、卒業式や入学式に「彩り」を添える取組みとなりました。

さらに、秋には環境飼育委員会の子どもたち(4、5、6年生)と一緒に校門周辺に、来校者をお迎えするための、色とりどりの季節の花を植えました。



プランターに花を植えました



6年間の思い出話にも花が咲きます

地域の声

- みんなで花を植えて楽しかった。
- 地域と学校が一緒になって交流できるのは嬉しい。今後も継続していきたい。
- コミセンにプランターを寄贈したところ、来館者より「素敵ね」という声があった。

団体間の連携による新たなつながりづくり

実施主体 ワンダフルデイ金丸
(校区社会福祉協議会やふれあいの会等の有志の集まり)

市内のフードバンク団体と連携し、希望する世帯に対して食料をお渡しする活動に取り組んでいます。

「ひとり親世帯に向けた取組みを始めたい」という思いをきっかけに活動が始まり、現在では第1金曜日に高齢者世帯、第3金曜日はひとり親世帯に食料を提供しています。

活動を続けるうち、お互いに話をする機会も増えました。時には「新しい資格を取ろうと頑張っています。」という前向きな近況報告を聞いたり、高齢者世帯からは「足腰が弱く、買い物が大変なので助かる。」という感謝の言葉をもらったりするそうです。

今後は、この活動を軸にした新しい取組みも検討していて、食料の提供にとどまらないつながりの方法を考えたいとのことでした。



青パトを活用しています



今回紹介した取組みの詳細は、市社会福祉協議会で作成・配布している「くるめのおたからあつめました～地域福祉活動事例集～」に掲載しています。本会ホームページでも閲覧可能ですので、ぜひ地域での活動にお役立てください。



久留米市には、こんな居場所があります！

「誰にとっても安心して過ごせる場所」「そのままの自分を受け入れてくれる場所」が久留米市にも複数あります。ここでは、地域住民の皆さんが、誰もが集える場として開設している場所や、利用できる施設等を紹介します。今後も不定期に様々な「居場所」を紹介します。

お母さん大学くるめ オープンデイ

「お母さん大学」は子育ての悩みや楽しいことを「お母さん業界新聞」の発行などを通じて発信し、共有することで、孤立した子育てをなくすために活動しています。

オープンデイはお子さんを連れて来た人、子育ての先輩など、様々な人が参加し、自由におしゃべりしています。お母さんだけでなく、お子さんがいない人や、お父さんの参加も大歓迎です。「お母さん業界新聞」を折りながらおしゃべりする「折々おしゃべり会」も毎月開催しています。折るという作業があることで、初めての人も話しやすいと好評です。

育児に疲れた時、誰かと話したい時、遊びに来てみませんか？

【開設日時・場所】

＜オープンデイ＞

●毎週火曜日 10時～14時30分(合川町2088 松葉荘201号室)

＜折々おしゃべり会＞

●第1火曜日 10時～14時30分(合川町2088 松葉荘201号室)

●第1土曜日 10時～12時

(東瀬原1752-1 久留米中央公園内 Café&Studio KURUMERU)

●月1回 ※曜日は決まっていません

(安武町武島808 安武校区コミュニティセンター)

【参加費】 無料

【問い合わせ】

お母さん大学／お母さん業界新聞福岡支局

TEL090・9062・7421(池田 彩)

メール:okaasankyusyu@gmail.com



公式LINE



ホームページ



松葉荘でのオープンデイの様子。リノベーションされたアパートの一室でリラックスしてお話できます。



三潞総合福祉センター「ゆうゆう」

「ゆうゆう」は、子どもから高齢者まですべての市民に、入浴・食事・研修・娯楽など、ふれあい、かたらい、学びあう場所を提供しています。

お隣には「水沼の里2000年記念の森」公園がひろがり、子ども連れでも楽しめます。

また、ベビーマッサージや太極拳教室等いろいろな講座も行われており、様々な世代の人が楽しめます。

ふれあいや出会い、健康づくりなどに、ぜひご活用ください。

【問い合わせ】

三潞総合福祉センター「ゆうゆう」 TEL0942・64・4134 FAX0942・65・1219

市社協ホームページ



「水沼の里2000年記念の森」公園の遊具



「ゆうゆう」館内には授乳室があり、オムツ替えベッドも設置されています。



●利用料

(食堂のみ利用の場合は、1時間以内無料です)

大人(中学生以上)	210円
子ども(4歳以上)	100円

●「ゆうゆう」の情報

(教室や食堂メニュー)はこちらから→



災害に備えて

相互連携協定を締結

久留米青年会議所と市社会福祉協議会

災害発生時に被災者への支援活動を迅速に行い、日常生活の回復に寄与するため、令和4年11月10日、(一社法人)久留米青年会議所と市社会福祉協議会で初めてとなる、相互連携協定を締結しました。

これまでも市内で災害が発生する度に青年会議所では積極的に災害支援のボランティア活動に参加されていました。

この協定により、災害発生時には被災者への迅速な支援の展開を図り、平時においても情報交換等を行い、協働して災害に備える体制づくりをすすめます。



右: 藤島氏(2022年度理事長)

♪ 歌声ボランティア講座 ♪

地域でひらかれているサロンの参加者と歌で交流を行い、地域づくりをすすめるボランティアを養成します。

【日 時】 2月8日(水)、15日(水)
14時~16時(全2回)

【場 所】 市総合福祉会館(長門石1-1-32)

【対 象】 ①歌が好きの人
②全2回の講座を受講できる人
③講座受講後、ボランティアとして活動できる人
※上記①~③をすべて満たす人

【持 参 品】 筆記用具

【定 員】 10人(申込み多数の場合は抽選)

【申込締切】 1月31日(火) 17時まで

【申込方法・問合わせ】

市社会福祉協議会ボランティアセンター(下記)
※新型コロナウイルス感染症の影響により内容が変更になる可能性があります。予めご了承ください。



久留米市農業協同組合が 新鮮野菜等を寄贈

久留米市農業協同組合(代表理事組合長 森光 佐一郎 様)が、厳しさを増す社会経済状況下で収入が減少するなどし、食の確保に困っている世帯への支援に役立てて欲しいと昨年9月から、毎月野菜料等を市社会福祉協議会に寄贈されています。

同組合からは、これまでも、精米を寄付していただいていたのですが、野菜やフルーツなどの季節の農産物を定期的に提供されるのは、初の取組みとなります。

野菜等は、市内で食料支援を行っているボランティア団体等を通して、支援の必要な世帯に提供しています。



左: 森光組合長

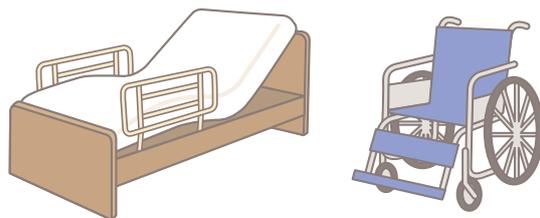
福祉機器の更新のお願い

市社会福祉協議会では、市内にお住まいの高齢者・障害者、傷病等で、福祉機器が必要な人に、介護用電動ベッド、車いす等を貸出しています。

貸し出し期間は、貸出日から翌3月または翌9月のいずれか早い月までで、更新手続き(半年に1回)を行えば延長できます。

次の更新時期は令和5年の3月となりますので、市社会福祉協議会から福祉機器を借りている人は更新の手続きをお願いいたします。

※ただし、施設や病院に入所・入院されている人や介護保険等の公的サービス利用が可能な人は除きます。



問合わせ

市社会福祉協議会ボランティアセンター TEL0942・34・3035 FAX0942・34・3090
メール: heartful@heartful-volunteer.net

ご芳志ありがとうございました

令和4年9月1日から11月30日まで

寄付者一覧(敬称略)

正会員

長門石校区社会福祉協議会
宮ノ陣校区社会福祉協議会
大橋校区社会福祉協議会
青峰校区社会福祉協議会
北野校区社会福祉協議会
弓削校区社会福祉協議会

矢ヶ部親真 (田主丸町)
《法人会員》
ドリームスエフエム放送(株)
(中央町)

馬場 昌子 (故五男)
(安武町)
池田 博重 (故初美)
(田主丸町)

賛助会員

《個人会員》
渡辺すみ子 (白吉町)
熊丸 弘一 (梅満町)
執行 満 (長門石町)
尋木 洋子 (津福本町)
森光多恵子 (花畑)
田中トミコ (国分町)
大石マサ子 (太郎原町)

社会福祉事業寄付金

三潞地区金融協会(福岡県)
信用組合、福岡銀行、筑邦銀行、大川信用金庫
井上 勇 (栃木県足利市)
香典返し寄付金
中垣 美子 (故久美子)
(白山町)

物品寄付

御井鼓舞組 (御井町)
山村 和美 (故田山次郎)
(埼玉県三郷市)
森 雅子 (故光山巖)
(那珂川市)
立石恵美子、江上 順子、
(長崎県諫早市)
絆データシステム(株)
(百年公園)



市社会福祉協議会賛助会員 加入のお願い

皆さまのご理解とご協力によって寄せられる会費が地域福祉活動を推進するための貴重な財源となっています。

本会の趣旨・活動にご賛同いただける地域の皆さま、法人等の皆さまには、ぜひ会員になっていただき、会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。

賛助会員の種類

- 個人会員 年額 1口 1,000円
- 法人会員 年額 1口 5,000円

会費の活用

- 車いすなどの福祉機器の貸し出し
 - 小地域ネットワーク活動の支援
 - ボランティア活動の推進
- などの財源の一部として使われています。

加入方法

- 市社会福祉協議会事務局に専用の振込用紙を用意していますので、お近くの筑邦銀行からお振込みください。
- 現金を直接、市社会福祉協議会事務局(各支所を含む)へお持ちください。

福祉機器をいただきました

令和4年11月27日、御井校区の和太鼓グループ「御井鼓舞組」様より、自主公演の収益金で車いす1台を寄贈いただきました。

市民への貸し出しや福祉学習などに活用させていただきます。ありがとうございました。



贈呈式の様子

「くるめ福祉」アンケート

- 地域や福祉の情報がわかりやすく伝わる
- 目をひく紙面、読みやすい記事

そんな「くるめ福祉」とするため、皆さんの声を聞かせてください。

- 【質問】①どの記事が一番印象に残りましたか？
②内容やデザインなど、本紙を読んでお気づきの点があればお寄せください。

アンケートをお寄せいただいた人の中から抽選で5名様に500円分のクオカードを差し上げます。なお、当選者の発表は、クオカードの発送をもって代えさせていただきます。



【送付締切】1月27日(金)必着

【送付方法】住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、郵便又はメールでお寄せください。

【送付先】

(郵送)〒830-0027 久留米市長門石1丁目1番34号
久留米市社会福祉協議会「くるめ福祉広報係」宛
(メール)題名に「くるめ福祉広報係」と記載
heartful@heartful-volunteer.net

第44回久留米市 ボランティアフェスティバル

【日時】3月19日(日)10時~15時

【場所】市総合福祉センター(長門石1-1-34)
市総合福祉会館(長門石1-1-32)

【講演会】NPOスチューデント・サポート・フェイス
代表理事 谷口 仁史氏

【バザー】市内の福祉団体の手作り製品、抹茶
ボランティア、コーヒーボランティアなど(予定)

【学習会】床下模型での水害対応学習、
地震体験車、福祉車両展示

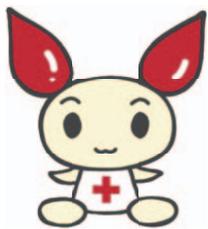
【イベント】アニソンDJイベント

【主催】第44回 久留米市ボランティアフェスティバル実行委員会

【問合わせ】市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL0942・34・3035

FAX0942・34・3090

メール:heartful@heartful-volunteer.net



けんけつちゃん コラム

献血で連携協定

「ゆめタウン久留米」と 献血支援パートナー協定を締結!

福岡県赤十字血液センターは血液の安定供給のため、株式会社イズミ「ゆめタウン久留米」と献血支援パートナー協定を締結されました。この協定により災害時における献血活動や若年層・子どもたちに向けた献血イベントの開催など継続的な献血支援が強化されます。

「ゆめタウン久留米」は県内で最も多く献血を実施している会場です。お買い物のあいまに献血、なんていかがでしょうか。

一段と寒さが増すこれからの時期は献血者も減少する傾向にあります。ぜひ献血にご協力をよろしくお願いいたします。



左:福岡県赤十字血液センター
右:株式会社イズミ ゆめタウン久留米

1~3月校区別献血日程予定表

月	校区・地域	日程	場 所	受付時間
2	草野	2日(木)	草野校区コミュニティセンター	10:00~11:30 12:30~15:00
	大橋	7日(火)	大橋校区コミュニティセンター	10:00~12:30 13:30~15:00
	南薫	12日(日)	南薫校区コミュニティセンター	9:30~12:30 13:30~15:00
	三潯地域	13日(月)	三潯保健センター	10:00~12:00 13:00~15:30
	城島地域	21日(火)	城島げんきかん (城島保健福祉センター)	10:00~12:30 13:30~15:30
	西国分	27日(月)	西国分校区コミュニティセンター	10:00~15:30
3	田主丸地域	2日(木)	(株)野口機工 JAにし 田主丸支店	10:00~12:00 14:00~16:00
	御井	3日(金)	御井校区コミュニティセンター	10:00~12:30 13:30~15:00
	北野地域	3日(金)	コスモすまいる北野	10:00~12:00 13:00~15:30
	合川	16日(木)	ゆめタウン久留米	10:00~12:00 13:15~16:00
	田主丸地域	20日(月)	田主丸総合支所	10:00~13:00 14:00~15:30
	鳥飼	24日(金)	鳥飼校区コミュニティセンター	10:00~13:00 14:00~15:30

※1月1日~3月31日までの予定を掲載しています。
※掲載している日程は変更となる場合があります。
詳しくは市社会福祉協議会ホームページ等をご確認ください。

問合わせ

市献血推進協議会(市社会福祉協議会内)
TEL0942・34・3035 FAX0942・34・3090
メール:k-syakyo@heartful-volunteer.net

この広報紙は、共同募金の配分等を受けて作成したものです。

